

4F32 8F32 8F33

BSB8F32C-A0609

セイコーウォッチ株式会社 <http://www.seiko-watch.co.jp/>

お客様相談窓口(全国フリーダイヤル)0120-612-911 (下記の最寄地に着信いたします)

お客様相談室

東京 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-1-10

大阪 〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング 8階

SEIKO

取扱説明書

INSTRUCTIONS PERPETUAL CALENDAR

F-1

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。
なお、この説明書はお手元に保管し必要に応じてご覧ください。

※ お買い求めの際の金属バンドの調整は
お買い上げ店・弊社お客様相談窓口
(裏表紙に記載)にて承っておりますが、
その他のお店では有料もしくはお取扱い
いただけない場合があります。

※ 保証期間内でも電池交換は
有料となります。
お買い上げの時計には検査用のモニター
電池が入っています。所定の年数よりも
早めに電池が切れることがあります。



警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。



時計から電池を取り出さないでください



乳幼児の手の届くところに時計本体や部品を置かないでください

電池や部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師とご相談ください。



次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食等により鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合

※ すぐにお買い上げ店・弊社お客様相談窓口（裏表紙に記載）にご相談ください



注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。



以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品・防虫剤・シンナーなど）
 - 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ ○ 高湿度なところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ ○ ホコリの多いところ ○ 強い振動のあるところ
- ※ 電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。



アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医に相談してください。



その他のご注意

- 上げ時計やペンダント時計のひもやチェーンが衣類や手・首などを傷つけるおそれがありますのでご注意ください。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

目次

製品の特長	5
ご使用になる前に	6

操作について

各部の名称とはたらき	8
時刻・日付の合わせかた	11
曜日の合わせかた（曜日つきモデルの場合）	15
カレンダー（うるう年からの年数・月・日付）の確認のしかた	16
うるう秒について	19

ご注意いただきたいこと

アフターサービスについて	22
保証について	24
お手入れについて	26
防水性能について	28
耐磁性能について	32
バンドについて	34
特殊な中留の使い方について	36
電池・精度について	42
ルミブライトについて	45

製品の特長

この時計は、うるう年を含めた大の月、小の月を判別し、自動的に月末の日付を修正するパーペチュアルカレンダー機能を搭載した時計です。2100年2月28日までのカレンダーを修正する必要がありません。

○パーペチュアルカレンダー機能

フルオートカレンダー機能のことをSEIKOでは、「パーペチュアルカレンダー」と呼んでいます。うるう年を含めた大の月、小の月を判別し、自動的に月末の日付を修正します。2月29日までである年が、うるう年です。

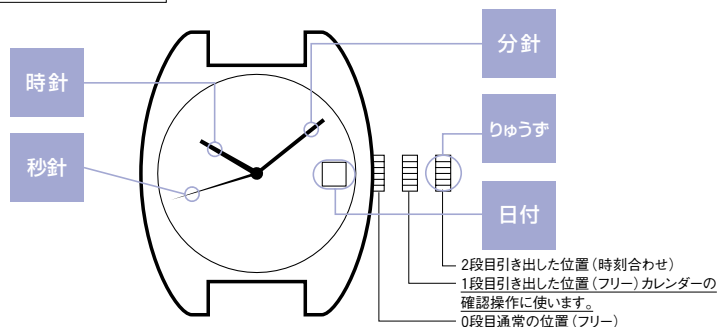
ご使用になる前に

この時計は、内部にカレンダー（うるう年からの年数、月、日付）を記憶しており、月末の日付（うるう年を含め、小の月の日付）修正を自動的に行い、以降お客様がその度に修正される必要が無いようになっています。ご使用になる前に、現在時刻に合わせてからご使用ください。「時刻・日付の合わせかた」の項をご参照ください。

操作について

各部の名称とはたらき

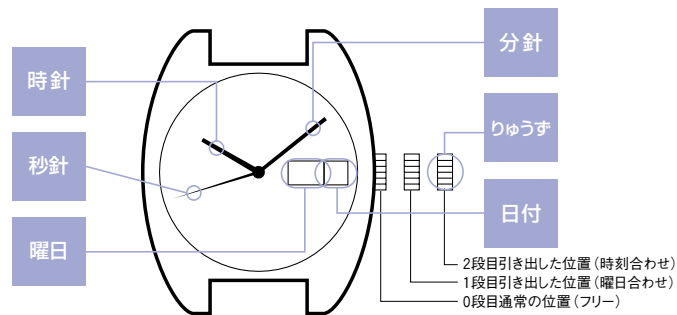
日付つきモデルの場合



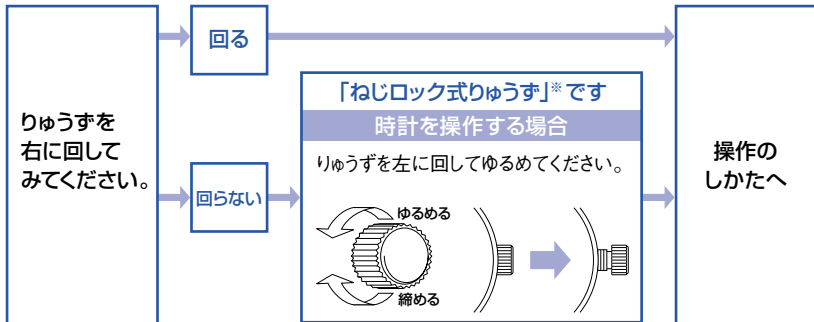
ご注意

この時計は、りゅうず1段目、および2段目の引き出し状態で放置しないでください。（電池寿命が短くなります。）

日付・曜日つきモデルの場合



※リユーズを「0段目→1段目→0段目」でカレンダーデータ（日曜は除く）の確認ができます。
※日付・曜日の有無や形状・位置はモデルによって異なります。



※ りゅうずが誤って引き出される事を防止するため、時計本体にねじ止めできるりゅうずです。

- 時計の操作後は必ずりゅうずを押し付けながら右に回して元通りに締めてください。
- りゅうずを締める時、回しにくい場合は元に戻してからやり直してください。
- 無理に締めますとねじを壊す恐れがあります。

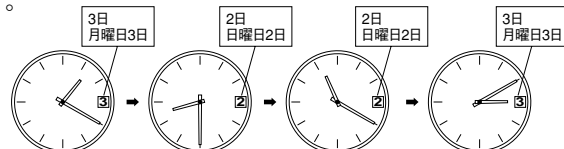
- 通常は、工場出荷時点でカレンダー（うるう年からの年数・月・日付）が正しく設定されていますので、お客様はカレンダー（うるう年からの年数・月・日付）を改めて設定される必要がありませんが、万一、日付が正しく表示されない場合は、「カレンダー（うるう年からの年数・月・日付）の確認のしかた」をご参照の上、カレンダーをご確認ください。
- 日付は、時刻に連動しており、時計の運針状態、リュウズ操作による時刻合わせのどちらでも24時間に1度切り替わります。日にちをまたいで時刻を進めると日付も進み、時刻を戻すと日付も戻ります。
 - ・ 時計の運針状態では、午前0時前後（午後11時45分～午前0時30分の間）で日付が切り替わります。
 - ・ リュウズ操作による時刻合わせで、時刻を進める場合と戻す場合では日付の切り替わり時刻が異なりますが、午後9時から翌日午前3時の間で切り替わります。その後、通常運針では、通常の午前0時前後（午後11時45分～午前0時30分の間）で日付が切り替わります。

- ①リュウズを2段目まで引き出します。
（ネジロック式リュウズモデルの場合は、リュウズを左にまわしてネジをゆるめ、リュウズを2段目まで引出します。）
※秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。
- ②リュウズをまわして時刻を合わせます。日付が今日の日付になっていない場合は、時刻を進める、あるいは戻して今日の日付に合わせてから時刻を合わせてください。
※午前午後を間違えないように合わせてください。（日付は24時間に1度切り替わります。）
午前午後を間違えて時刻合わせをすると、昼の時間に日付が切り替わってしまいますので、ご注意ください。
- ③時報と同時にリュウズを押し込みます。
（ネジロック式リュウズモデルの場合は、リュウズを押しつづながら右に止まるころまでしっかりネジ込んでください。）
※リュウズ1段目、および2段目の引き出し状態で、放置しないでください。（電池寿命が短くなります。）
※時刻合わせ後のカレンダーの確認をしたいときは、「カレンダー（うるう年からの年数・月・日付）の確認のしかた」の項をご参照ください。

【午後9時から翌日午前3時の間で時刻合わせをする場合】

- ・ 午前0時をはさんで、午後9時から翌日の午前3時の間で時刻を合わせるときは、時刻をいったん午後9時より前に戻して（あるいは午前3時より先に進めて）、その日付が正しいことを確認してから時刻合わせをしてください。
- ・ 午後9時から翌日午前3時の間で時刻を進めたり戻したりしたとき、午前0時前後に日付が切り替わらないことがあります。午前3時をすぎれば、日付は午後9時以前の日付の翌日（＝午前3時以降の日付）に切り替わっています。また、運針状態では、日付が切り替わる時刻も、通常の運針状態の切り替わり時刻に戻ります。

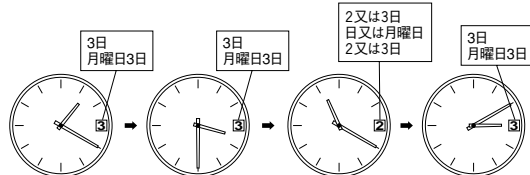
例：現在の時刻表示が、「3日午前1時20分」の時刻を、「2日午後11時20分」に合わせるのに、2つの方法があります。



日付つきモデルの場合 3日午前1時20分 午後9時より前に戻す 午後11時20分 午前3時までで切り替わる
日付・曜日つき（月曜日） 3日午前1時20分 午後9時より前に戻す 午後11時20分 午前3時までで切り替わる
モデルの場合

曜日の合わせかた（曜日つきモデルの場合）

- いったん午後9時より前に戻すと、日付は「2日」になります。次に、時刻を進めて「午後11時20分」に合わせますが、日付は「2日」のままになっており、その後、運針状態で午前3時まで切り替わり、日付は「3日」になっています。
- いったん午前3時より先に進めると、日付は3日を表示しています。次に、時刻を戻して午後11時20分に合わせますが、日付は時刻の進めかた、戻しかたにより、「2日」の場合も「3日」の場合もあります。その後、運針状態で午前3時を過ぎれば、「3日」を表示しています。また、運針状態では、日付が変わる時刻も通常の運針状態の午前0時前後（午後11時45分～午前0時30分の間）になります。



日付つきモデルの場合 3日午前1時20分 午前3時より後に進める 午後11時20分 午前3時を過ぎる
 日付・曜日つきモデルの場合 3日午前1時20分 午前3時より後に進める 午後11時20分 午前3時を過ぎる

※クォーツは機械時計と機構が異なりますので正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。
 ※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL. 117が便利です。

●曜日付は、時刻に連動しており、時計の運針状態、リュウズ操作による時刻合わせのどちらでも24時間に1度切り替わります。日にちをまたいで時刻を進めると曜日も進み、時刻を戻すと曜日に戻ります。

- 時計の運針状態では、午後11時00分～午前4時00分の間で曜日が切り替わります。
- リュウズ操作による時刻合わせでは、時刻を進める場合と戻す場合でも午後11時00分～午前4時00分で曜日が切り替わります。

- 時刻・日付を合わせた後、リュウズを1段目まで引き出します。（ネジロック式リュウズモデルの場合は、リュウズを左にまわしてネジをゆるめ、リュウズを1段目まで引出します。）
- リュウズを左方向にまわして、現在の曜日に合わせてください。
 ※午後11時～午前4時までは、曜日を合わせないでください。
 この時間帯に曜日を修正しますと、翌日になっても曜日が変わらないことがありますので、この時間帯に針をうごかしてから曜日を合わせてください。
 ※英文字・和文字お好みの方に合わせてください。
- リュウズを押し込みます。（ネジロック式リュウズモデルの場合は、リュウズを押しつけながら右に止まるところまでしっかりネジ込んでください。）

カレンダー（うるう年からの年数・月・日付）の確認のしかた

- リュウズ操作により、うるう年からの年数・月・現在日の確認ができます。
- 日付合わせ後のカレンダーの確認ができます。
 ※「電池寿命切れ予告機能（2秒運針）」の状態の場合は、カレンダーの確認ができませんので、ご注意ください。
 ※cal.8F33の場合、曜日の確認はできませんのでご注意ください。
- リュウズを1段目に引き出し、0段目に押し込む動作を1秒以内で行います。

（リュウズを2段目に引き出した場合は、確認できません。）

- 年 → 2. 月 → 3. 現在日
- 年表示は、うるう年からの年数を、秒針の動きで表示します。連続した5秒分の動きを1年として何回進むかで表示します。
 ※最初の秒針の位置を覚えておいてください。
 ※たとえば、秒針が5秒分の進みを4回繰り返したときは、うるう年であることを表わします。

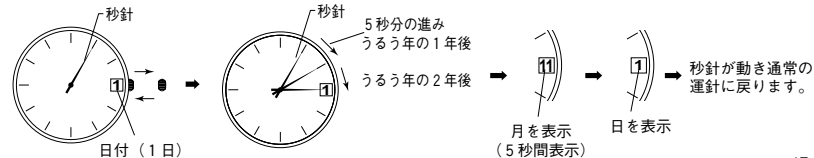


秒針の動き	5秒分が進むうるう年から	5秒分の進みが2回うるう年の1年後	5秒分の進みが3回うるう年の2年後	5秒分の進みが4回うるう年の3年後
西暦	2005 2009 2013	2006 2010 2014	2007 2011 2015	2008 2012 2016
	2089 2093 2097	2090 2094 2098	2091 2095 2099	2092 2096 2099

- 月表示は、秒針が停止し、日付が進んで、現在月を5秒間表示します。
- 月表示後、現在日の表示に戻ります。
 ※月と日が同じ場合は、日付が1日進み、1日戻ります。
- その後、秒針が追いかけて通常の秒運針に戻ります。

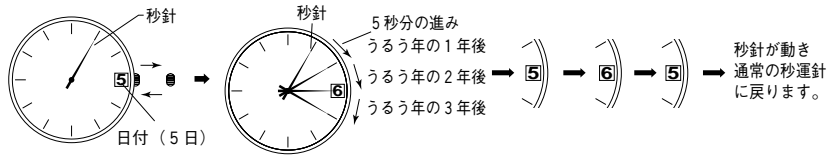
例：2006年11月1日

2006年は、うるう年から2年後のため、秒針は5秒分の進みを2回行います。その後、カレンダーの数字が、「1」より、「11」に変わり5秒間月表示します。次に、「11」より「1」に変わり日付を表示し、秒針が追いかけて通常の秒運針に戻ります。



例:2007年5月5日

2007年は、うるう年から3年後のため、秒針は5秒分の進みを3回行います。その後、カレンダーの数字が1つ進み「6」を表示後、直ぐ、1つ戻り現在の日付「5」を表示し、日付と月が同じであることを示します。次に、秒針が追いかけて通常の秒運針に戻ります。



※うるう年からの年数・月が正しく表示されていない場合は、お買い上げ店または、「セイコーウォッチ株式会社お客様相談室」にお問い合わせください。

普通日は標準時間で86,400秒ですが、86,401秒になることがあります。これは、地球の自転の誤差による時刻のくいを補正するもので、これを「うるう秒」と呼びます。「うるう秒」が実施されますと、時計が標準時間に比較して1秒進みますので、時刻を修正してください。

「うるう秒」は、世界各国の天文台の観測情報にもとづき、英国のグリニッジ天文台を中心として全世界いっせいに実施されます。

グリニッジ標準時では、「12月31日」または「6月30日」の午後11:59～午前0:00が61秒間となります。

日本の場合、時差換算すると、うるう秒がおこなわれる日は「1月1日」または「7月1日」で日本時間の午前8:59～午前9:00の60秒間が61秒間となりますが、おこなわれないこともありますので新聞等でご確認ください。

ご注意ください

アフターサービスについて

修理用部品について

- この時計の修理用部品の保有期間は通常7年を基準としています。
- 修理の際、一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

電池交換について

- 電池交換はお買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
(交換の際に電池の回収をおこなっております。)
その際防水性能を維持するためパッキン交換をご依頼ください。
- 電池交換は保証期間内でも有料となります。
- 10気圧防水以上の時計は、防水検査をご依頼ください。
防水検査は日数を要しますので期間をご確認ください。
- 電池交換してもすぐ止る場合はオーバーホールが必要です。

22

オーバーホール(分解掃除)について

長くご愛用いただくために、3～4年に一度程度の分解掃除による点検調整(オーバーホール)をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整(オーバーホール)をお買い上げ店にご指定ください。部品交換のときは、「純正部品」とご指定ください。分解掃除による点検調整(オーバーホール)の際には、パッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

保証と修理について

- 修理やオーバーホールの際は、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内の場合は必ず保証書を添えてください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。よくお読みいただき大切に保管してください。

23

保証について

取扱説明書にそった正常な使用により、お買い上げ後1年以内に不具合が生じた場合には、下記の保証規定によって無料で修理・調整いたします。

保証の対象部分

- 時計本体(ムーブメント・ケース)及び金属バンドです。

保証の適用除外(保証期間内あるいは保証対象部分であっても、次のような場合には有料になります)

- 電池交換及び皮革・ウレタン・布等のバンドの交換
- 事故または不適切な取扱いによって生じた故障および損傷
- ご使用中に生じるキズ・汚れ等
- 火災・水害・地震等の天災地変による故障及び損傷
- 保証書記載項目の全てが記入された保証書のみが有効です。
故意に字句を書き換えた場合は規定の無償修理は受けられません。

24

保証は、保証書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証書は日本国内のみ有効です。

保証を受ける手続き

- 保証対象の不具合が生じた場合は、時計と別紙保証書をご持参の上、お買い上げ店にご依頼ください。
- お買い上げ店の保証が受けられない場合には、「セイコーウオッチ株式会社 お客様相談窓口」に保証書を添えてご依頼ください。

その他

- 修理のとき、ムーブメントを交換させていただいたり、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどに、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。ご使用部品の保有期間は本取扱説明書(P.22)をご参照ください。
- 金属バンド等の調整は、お買い上げ店または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。上記以外の販売店での調整は有料になります。

25

お手入れについて

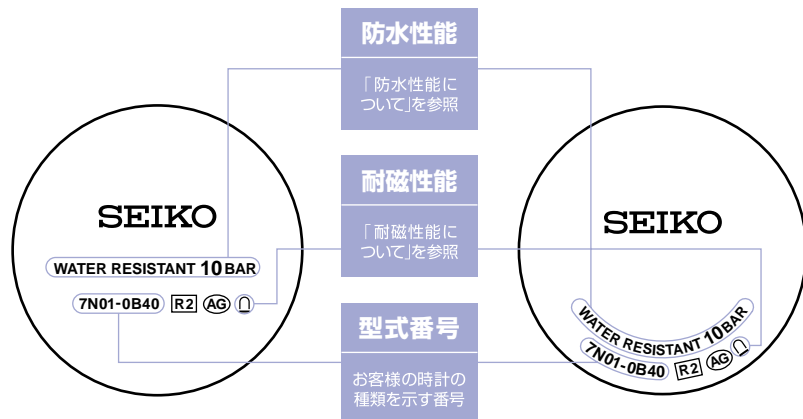
日頃からこまめにお手入れしてください

- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布で拭き取るように心掛けてください。
- すきま（金属バンド、りゅうず周り、裏ぶた周りなど）の汚れは柔らかい歯ブラシが有効です。
- 海水に浸けた後は、必ず真水でよく洗ってから拭き取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。

りゅうずは時々回してください

- りゅうずの錆び付きを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。（りゅうずを引く必要はありません）

時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます



※上記の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なります。

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を
下記の表でご確認の上で使用ください。
（「P.27」をご覧ください）

裏ぶた表示	防水性能
表示なし	非防水です。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。



注意

- 防水性能を維持するため、電池交換の際は必ずパッキン交換をご依頼ください。
- また電池交換の際、10気圧防水以上の時計は防水検査をご依頼ください。

お取扱方法

水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。

日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 **警告** 水泳には使用しないで下さい。

水泳などのスポーツに使用できます。

空気ボンベを使用しないスキンドайビングに使用できます。

警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないで下さい

BAR (気圧) 表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバースウォッチをご使用下さい。

注意

※ 万一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口 (裏表紙に記載) にご相談ください。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないで下さい

時計内部に水分が入ることがあります。

30

注意



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けて下さい

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまうからです。



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

31

耐磁性能について (磁気の影響)

アナログクォーツ時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

※ 磁気により時刻が狂っても、遠ざければ正常に動きます。時刻を合わせ直してお使いください。

裏がた表示	お取扱方法
表示なし	磁気製品より10cm以上遠ざける必要があります。
	磁気製品より5cm以上遠ざける必要があります。 (JIS水準1種)
	磁気製品より1cm以上遠ざける必要があります。 (JIS水準2種)

32

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



携帯電話 (スピーカー部)

磁気健康バンド



バッグ (磁石の止め金)

磁気ネックレス



交流電気かみそり

磁気健康マット



携帯ラジオ (スピーカー部)

磁気健康枕

電磁調理器

など

アナログクォーツ時計が
磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁力で互いに影響し合い、モーターを止めたり、無理に回転させてしまうためです。

33

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド

- ステンレスバンドも水・汗・汚れをそのままにしておくとさび易くなります。
- 手入れが悪いとかぶれやワイシャツの袖口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布で取り除いてください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシ等で取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう)

皮革バンド

- 水や汗、直射日光には弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- 水がかかった時や汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで吸い取るように軽く拭いてください。
- 直接日光にあたる場所に放置しないでください。
- 色味の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。

- 時計本体が日常生活強化防水(10気圧防水)になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、入浴中や水泳、水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド

- 光で色が褪せたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- 特に半透明や、白色、淡色のバンドは、他の色を吸着し易く、また変色をおこします。
- 汚れたら水で洗い、乾いた布で良く拭き取ってください。(時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう)
- 弾力性がなくなり、ひび割れを生じたら取り替え時期です。

かぶれやアレルギーについて

バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れもしくはバンドとのすれなど不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

バンドサイズの目安について

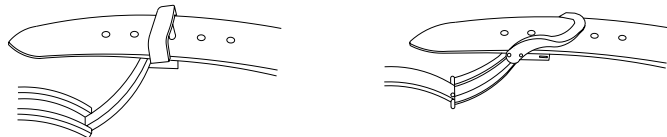
バンドは多少余裕をもたせ通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



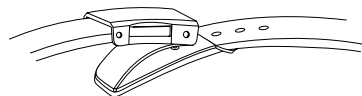
特殊な中留の使い方について

皮革バンド、および、メタルバンドの一部に特殊な中留を用いたものがございます。お買い上げの時計の中留が下記のいずれかに当てはまる場合は、各々の操作方法をご覧ください。

- A三ツ折中留(皮革バンド専用)
 Bワンプッシュ三ツ折中留(皮革バンド、メタルバンド)

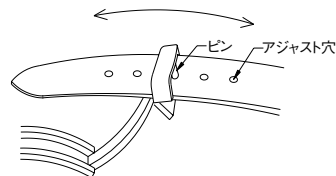
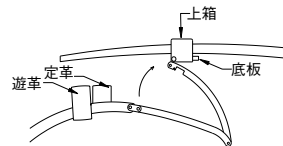


③ワンプッシュ三ツ折中留(皮革バンド専用)

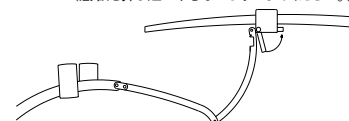
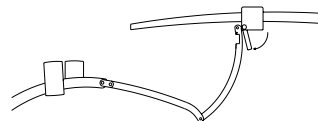


A三ツ折中留(皮革バンド専用)の使い方

- 1) バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。
- 3) ピンをバンドの調整穴から外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところでピンを調整穴にもう一度入れます。



- 2) 上箱の底板を下に開きます。
- 4) 底板を閉めます。(底板を押し込みすぎないようにしてください。)

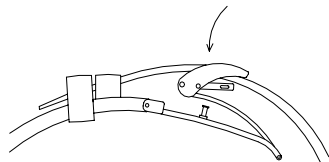
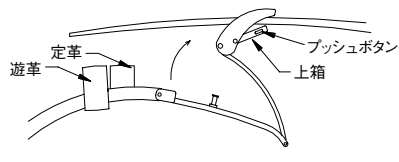


※中留を装着するときは、バンドの剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めて下さい。

B ワンプッシュミツ折中留 (皮革バンド、メタルバンド) の使い方

① 時計の着脱方法

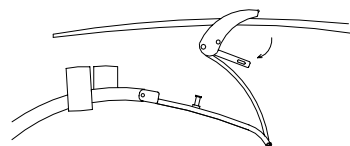
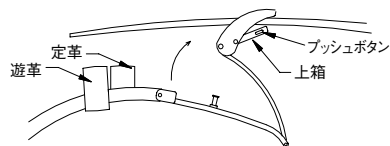
- 1) 両方のプッシュボタンを押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- 2) バンドの剣先(先端)を定革・遊革に入れてから、上箱の上面位置をしっかり押さえ留めます。



※メタルバンドの場合は、定革がない場合がございます。

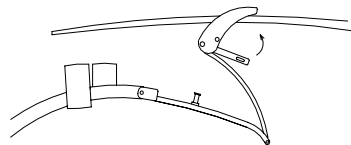
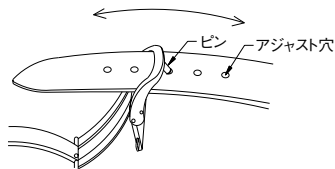
② バンドの長さ調整方法

- 1) 両方のプッシュボタンを押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- 2) もう一度プッシュボタンを上箱を下に開きます。

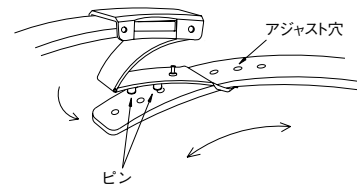
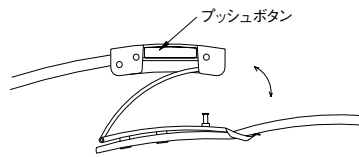


C ワンプッシュミツ折中留 (皮革バンド専用) の使い方

- 3) ピンをバンドのアジャスト穴から外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところでピンをアジャスト穴に入れます。
- 4) プッシュボタンを押しながら上箱を開めます。



- 1) プッシュボタンを押しながら中留を開きます。
- 2) バンドのアジャスト穴をピンから外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところでピンをアジャスト穴にもう一度入れ、プッシュボタンを押しながら中留をしっかり抑え留めます。



電池・精度について

○電池寿命

この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後[8F32・33(約10年)・4F32(約5年)]間作動します。
※この時計の電池寿命は、[8F32・33(約10年)・4F32(約5年)]となっております。これは時計が正常な状態で使用と保管がされることを条件しております。この条件以外では電池寿命に満たないうちに電池寿命切れとなる場合がありますので、ご注意ください。
条件以外とは、1.リュウズ1段、および2段引きの状態での放置。

2.カレンダーを頻繁に確認した場合。

3.「常温(5℃~35℃)からはずれた温度」下で長時間放置。

○最初の電池

お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用電池です。お買い上げ後、上記の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

○電池寿命切れ予告機能

秒針が一度に2目盛送る(2秒運針)ようになりますと、約2週間で時計が止まる可能性があります。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

※ただし、この場合でも時刻は正常に動きます。日付は切り替わりませんが、故障ではありません。
※電池容量が残っている場合でも、電池寿命が近づいて来ると低温状態に放置された場合など、一時的に電池性能が劣化し、電池寿命切れ予告状態になることがあります。

この場合、2秒運針となり、日付は切り替わりませんが、常温(5℃~35℃)に戻り、電池性能が正常に戻れば、翌日には通常(一秒毎)の運針に戻り、日付も遅れ分を補正し正常に戻ります。常温に戻っても2秒運針のままで、日付も送らない場合は、電池寿命切れが間近ですので、お早めに電池交換をご依頼ください。

○電池交換

- ①パーベチャルカレンダーは、内蔵の電子回路でカレンダーデータを記録し、現在が何日であるかを判断し、日付表示をコントロールすることにより動作しています。電池が切れても、カレンダーデータは予備電源により保持されており、通常は、電池交換してもカレンダーデータを修正する必要はありません。電池寿命切れのまま長時間放置しますと、予備電源が消耗することがありますので、2秒運針中に電池交換をすることをおすすめします。
- ②電池交換は、必ずお買い上げ店で「セイコー純正SB電池」とご指定の上、ご用命ください。
- ③電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
- ④電池交換は、保証期間内でも有料となります。
- ⑤電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。
※電池交換をされたときは、カレンダーの確認をお願いします。
「カレンダー(うるう年からの年数・月・日付)の確認のしかた」の項を参照ください。

42

43

ルミブライトについて

機種により電池寿命と精度は異なります。機種は裏ぶたでご確認いただけます。

(「お手入れについて」をご覧ください)

機種	型式番号の前4桁 (例:4F32-00D0)	使用電池 SB-	電池 寿命	精度 (年差)
	4F32	T18	約5年	±20秒
	8F32、8F33	T19	約10年	

- 上記の電池寿命は新しく電池を入れたときのものです。
- お買い上げ時の電池は検査用のモニター電池ですので、上記期間より早く切れる事があります。
- 精度は常温(5℃~35℃)において1日12時間程度腕につけた場合のものです。
※但し、携帯の条件によっては月間4秒程度までは遅れる(進む)場合があります。
- 精度(年差)とは、一年間を通しての誤差を意味しています。1ヶ月の遅れ進みが必ずしも年差の12分の1になるということではありません。
- 作動温度範囲は-10℃~+60℃です。

【お買い上げの時計がルミブライトつきの場合】

ルミブライトは、放射能等の有害物質を全く含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)物質です。ルミブライトは太陽光や照明器具の明りを短時間(約10分間:500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約3~5時間)光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度(明るさ)は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

〈照度データ〉(目安値)

- ① 太陽光[晴天] 100,000ルクス [曇天] 10,000ルクス
- ② 屋内(昼間窓際) [晴天] 3,000ルクス以上 [曇天] 1,000~3,000ルクス [雨天] 1,000ルクス以下
- ③ 照明(白色蛍光灯40Wの下で) [1m] 1,000ルクス [3m] 500ルクス(通常室内レベル) [4m] 250ルクス

44

45

Thank you very much for choosing a SEIKO watch.
For proper and safe use of your SEIKO watch,
please read carefully the instructions
in this booklet before using.

Keep this manual handy for easy reference.

※Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover). The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

※Battery replacement is at cost even within the guarantee period.

The battery in the watch at the time of purchase is a monitor battery inserted in the watch at the factory for performance checks. Therefore, the battery may run down earlier than the specified period.

WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.



Do not remove the battery from the watch.



Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the battery or accessories. If a baby or child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.



Immediately stop wearing the watch in following cases.

- If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
- If the pins protrude from the band.

※Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover).

CAUTIONS

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.



Avoid the following places for wearing or keeping the watch.

- Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
 - Places where the temperature drops below 5 °C or rises above 35 °C for a long time
 - Places of high humidity
 - Places affected by strong magnetism or static electricity
 - Dusty places ○ Places affected by strong vibrations
- ※ Do not leave a dead battery within the watch for a long time as leakage might occur.



If you observe any allergic symptoms or skin irritation

Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist



Other cautions

- Note that there is a risk of damaging your clothes, hand or neck with the band, cord or chain of the pocket watch or pendant watch.
- Do not disassemble or tamper with the watch.
- Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.

CONTENTS

Features	51
Before using the watch	52

HOW TO USE

Names of the parts	54
How to set the time and date	57
How to set the day display (for models with the day display)	60
How to check the calendar	62
Intercalary second (leap second)	65

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

After-sale service	68
Guarantee	71
Daily care	72
Water resistance	75
Magnetic resistance	78
Band	80
Special Clasps	82
Notes on the battery	88
Battery/Battery life/Accuracy	90
Lumibrite	91

50

Features

This watch features a perpetual calendar that automatically adjusts for odd and even months including February of leap years up to February 28, 2100.

• Perpetual calendar function

"perpetual calendar" refers to the fully automatic calendar developed by SEIKO.

Identifying the number of days in each month including February of leap years, the calendar adjusts itself at the end of the month.

* The leap year refers to the year that has an extra day on February 29.

51

Before using the watch

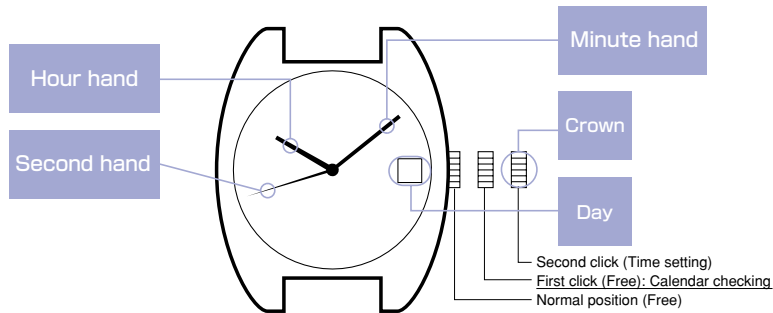
- This watch stores in its built-in memory such calendar data as the number of years since the last leap year and the current month and date. Once set, therefore, the calendar automatically adjusts for odd and even months including February of leap years, eliminating the need of date setting at the end of each month.
- Before using the watch, set the correct time, referring to "How to Set the Time and Date".

52

HOW TO USE

Names of the parts

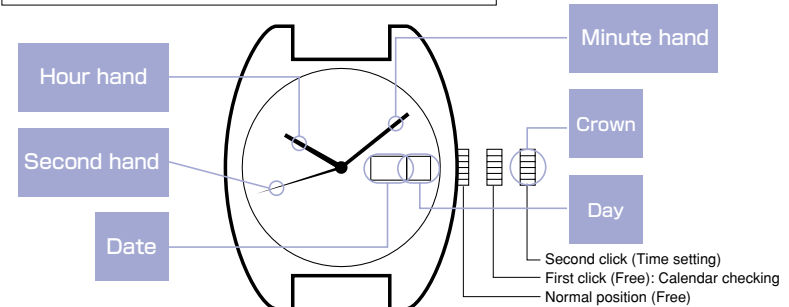
FOR MODELS WITH DATE CALENDAR



*Do not leave the crown at the first or second click when you use the watch, as this will shorten the battery life.

54

FOR MODELS WITH DAY-DATE CALENDAR

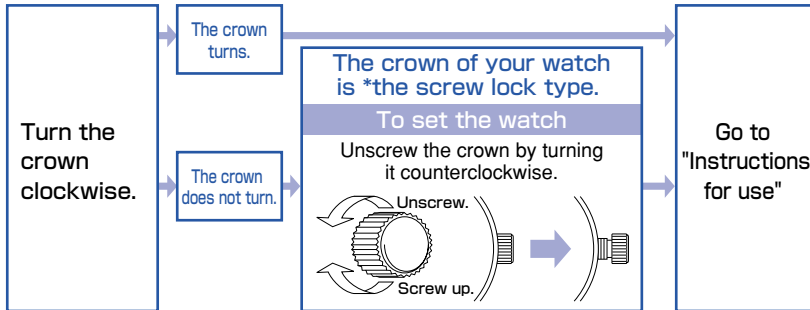


*The calendar data (number of years since the last leap year, month and date) can be checked by pulling out the crown to the first click, and then pushing it back to the normal position.

*The position of the calendar frame differs depending on the model.

55

Check the type of the crown of your watch



*This type of crown can be screwed into the watch body to avoid being pulled out by mistake.

- After completing all settings of the watch, screw the crown in again by turning it clockwise while pressing it.
- If the crown turns out to be too stiff to be screwed up, turn the crown counterclockwise once and then give another try.
- Do not screw it in by force as it may damage the slots of the crown.

56

How to set the time and date

- The calendar data, namely, the number of years since the last leap year and the current month and date, are pre-recorded at the factory, and it is not necessary to adjust the calendar. In case the calendar indication is not correct, check the calendar referring to "How to check the calendar".
- The date changes correspondingly with the time. It changes once in 24 hours or can be changed manually by turning the hour hand two full circles. The date advances or returns by one day by advancing or turning back the hour hand past the 12 o'clock marker, respectively.
 - The date changes between 11:45 p.m. and 12:30 a.m. while the watch is in operation.
 - When the date is changed manually by turning the crown, it changes between 9:00 p.m. and 3:00 a.m. Once the desired date is set, however, the date changes properly between 11:45 p.m. and 12:30 a.m. while the watch is in operation.

57

① Pull out the crown to the second click.

If the crown is of the screw lock type, unscrew it by turning it counterclockwise, and then pull it to the second click.

* When the second hand is at the 12 o'clock position, pull out the crown to the second click. The second hand will stop on the spot.

② Turn the crown to set the hands to the desired time. If the indicated date is not correct, advance or turn back the hands until the correct date is shown, and then, set the time.

* When setting the hour hand, check that AM/PM is properly set. (The watch is so designed that the date changes once every 24 hours.)

* If AM/PM is set improperly, the date will change at noon.

[To set the time to the time between 9:00 p.m. and 3:00 a.m.]

• When setting the time to the time between 9:00 p.m. and 3:00 a.m. by turning back or advancing the hour hand past the 12 o'clock marker, hour hand to the current time of

your area.

• When the date is changed manually by turning the crown, it changes between 9:00 p.m. and 3:00 a.m. Once the desired date is set, however, the date changes properly between 11:45 p.m. and 12:30 a.m. while the watch is in operation.

③ Push the crown back in to the normal position in accordance with a time signal.

If the crown is of the screw lock type, turn it clockwise while pressing it to screw it in completely.

* Do not leave the crown at the first or second click when you use the watch, as this will shorten the battery life.

How to set the day display (for models with the day display)

● The day display changes correspondingly with the time, and advances or moves back following the movement of hands. It can also be set by turning the crown.

When the date advances one day as the hour hand passes the 12 o'clock marker, the day also advances one day. When the date returns by one day as the hour hand in turned back to past the 12 o'clock marker, the day also returns by one day.

• When the hands are moving in the normal operation, the day display changes gradually between 11:00 p.m. and 4:00 p.m.

• When setting the time by turning the crown, the day display changes between 11:00 p.m. and 4:00 a.m.

① Pull out the crown to the first click after setting the time and date.

(If the crown is of the screw lock type, unscrew it by turning it counterclockwise, and pull it to the first click.)

② Turn the crown counterclockwise and set the day display to the desired day.

※ Do not set the day between 11:00 p.m. and 4:00 a.m. Otherwise, the day may not change properly.

※ The day display can be chosen in Japanese/English.

③ Push the crown back to the normal position.

(If the crown is of the screw lock type, turn it clockwise while pressing it to screw it completely.)

How to check the calendar (the number of years since the last leap year and the current month and date)

• The number of years since the last leap year and the current month and date can be checked by operating the crown.

• After the calendar setting is over, you can check if no mistake is made.

*Note that, when the second hand is moving at two-second intervals, indicating that the battery nears its end, the calendar checking cannot be made.

*Please note that, in the case of cal. 8F33, checking of day display cannot be mode.

● Pull out the crown to the first click, and push it back to the normal position within a second.

(Make sure that the crown is pulled out to the first click, not to the second click.)

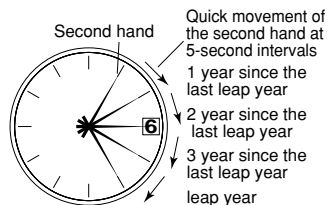
• The calendar can be checked in the following order.

1. Year → 2. Month → 3. Current date

1. The second hand moves quickly at five-second intervals and stops to indicate the number of years that have passed since the last leap year.

*Before pulling out the crown to the first click, check and remember where the second hand is.

*If the second hand advances 20 seconds at five-second intervals, for example, the watch indicates that the year is a leap year.

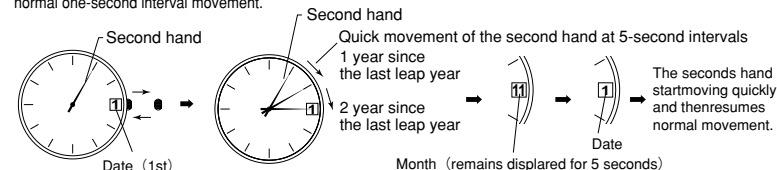


Quick movement of second hand	5 seconds	10 seconds	15 seconds	20 seconds
Number of years since the last leap year	1 year	2 year	3 year	4 year(leap year)
year	2005	2006	2007	2008
	2009	2010	2011	2012
	2013	2014	2015	2016
year
	2089	2090	2091	2092
	2093	2094	2095	2096
	2097	2098	2099	

4. After the calendar has been displayed, the second hand starts moving quickly and then resumes normal movement.

Ex.) November 1, 2006

The year 2006 is two years since the last leap year, and, therefore, the second hand moves quickly for 10 seconds. Then, the numeral in the calendar window changes from "1" to "11", remains displayed for 5 seconds, and then returns to "1". After the calendar has been displayed, the second hand moves quickly to catch up with the current second, resuming the normal one-second interval movement.



Intercalary second (leap second)

Ex.) May 5, 2007

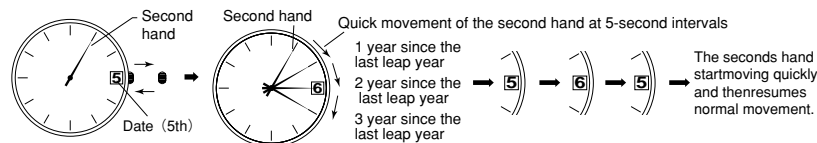
Date (5th)

Month (remains displayed for 5 seconds)

The second hand starts moving.

The year 2007 is three years since the last leap year, and therefore, the second hand moves quickly for 15 seconds. Then, the numeral in the calendar window changes from "5" to "6", and immediately returns to "5" to indicate that the month and date numerals are identical.

After the calendar has been displayed, the second hand moves quickly to catch up with the current second, resuming the normal one-second interval movement.



* If the watch does not indicate the number of years since the last leap year and month correctly, contact the SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

Normally there are 86,400 seconds in a day. Due to a slight change in the earth's rotation, and extra second may be added to one day during the year. This is called the intercalary second. Every year the decision is made whether such an adjustment is needed. When the adjustment takes place, the standard time should be corrected by delaying the standard time one second. To keep your SEIKO watch accurate with the world standard time, adjust your watch to a time signal whenever such adjustment is made.

According to the information from the observatories all over the world, the standard time is delayed one second simultaneously throughout the world by the Greenwich Royal Observatory.

In the Greenwich Mean Time, an extra second will be added to the one minute between 11:59 P.M. and 12:00 A.M. either on December 31st or on June 30th. In the Japan time, due to the time differential an extra second will be added to the one minute between 8:59 A.M. and 9:00 A.M. on January 1st or July 1st.

However, the adjustment may not be made in some years. Please, check by a newspaper, etc. whether such an adjustment will be made or not.

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

After-sale service

Repair parts

- The repair parts of this watch will be retained usually for 7 years.
- Some alternative parts may be used for repair if necessary.

Battery replacement

- Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER to have the battery replaced with a new one. It is recommended to exchange the gasket at the same time to maintain the water resistant performance.
- Battery replacement will be at cost even within the guarantee period.
- For a water resistant watch with 10 BAR or above, a water resistant performance check is also recommended. Please note that it may take some days to conduct the check.
- If the watch runs down on a new battery, it requires an overhaul.

Notes on overhaul

Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately every 3 to 4 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts may occur due to contamination of oil, which may ultimately lead the watch itself to stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.

Notes on guarantee and repair

- Contact the retailer the watch was purchased from or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.
- Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.
- Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.

Guarantee

Within one year from the date of purchase, we guarantee free repair/adjustment service against any defects according to the following guarantee regulations, provided that the watch was properly used as directed in this instruction booklet.

Guarantee coverage

- The watch body (movement·case) and metallic band.

Exceptions from guarantee

In following cases, repair/adjustment services will be at cost even within the guarantee period or under guarantee coverage.

- Battery replacement and change of leather/urethane/cloth band
- Troubles or damage caused by accidents or improper usage
- Scratches or grime caused by use
- Problems and damage caused by acts of god, natural disasters including fire, floods or earthquakes.
- The certificate of guarantee is valid only if all the necessary items are properly filled in. We will not honor an altered or tampered certificate of guarantee for free repair services.

70

Daily care

The watch requires good daily care

- Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
- To clean the clearances (around the metallic band, crown or case back), a soft toothbrush is convenient.
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.

Turn the crown from time to time

- In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- The same practice should be applied to a screw lock type crown. (No need to pull out the screw lock type crown.)

72

Free repair services are guaranteed only under the period and conditions specified in the certificate of guarantee. It does not affect specific legal rights of a consumer.

The certificate of guarantee is valid only in Japan.

Procedure to claim free repair services

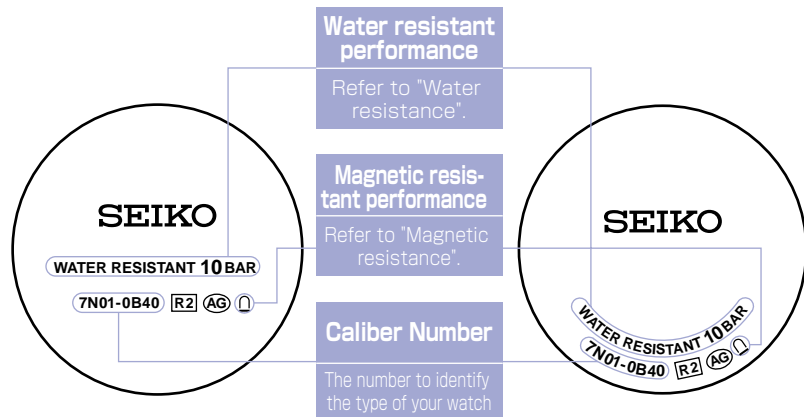
- For any defects under guarantee, submit the watch together with the attached certificate of guarantee to the retailer from whom the watch was purchased.
- If repair services cannot be provided by the retailer from whom the watch was purchased, contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. In this case, the attached certificate of guarantee is also needed.

Others

- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be repaired with substitutes if the originals are not available. If necessary, movements will be replaced. Refer to the page 68 of this booklet for the retention period of the parts.
- For length adjustment service of a metallic band, ask the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. Other retailers may undertake the service on a chargeable basis.

71

The case back shows the caliber and performance of your watch



※The figure above is one example. Performance of your watch is different from above sample.

73

Water Resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.

(Refer to "P.73")

Indication on the case back	Water resistant performance
No indication	Non-water resistance
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	Water resistance for everyday life at 10 (20) barometric pressures.

74

WARNING



Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches for diving.

CAUTION

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover).



Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.

Water may get inside of the watch.

76

Cautions

- In order to maintain the water resistant performance at factory-adjusted level, make sure to replace the gasket when changing the battery.
- For a water resistant watch with 10 BAR or above, be sure to have the water resistant performance check when changing the battery.

Condition of Use

Avoid drops of water or sweat

The watch withstands accidental contact with water in everyday life.

 **WARNING** Not suitable for swimming

The watch is suitable for sports such as swimming.

The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

75

CAUTION



Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.



Do not pour running water directly from faucet.

The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.



77

Magnetic resistance (affect of magnetic field)

Affected by nearby magnetism,

a quartz watch may temporarily gain or lose time or stop operating.

※ This defective condition caused by magnetism will be corrected soon after the watch is removed from the magnetic source. Reset the time once again before using the watch.

Indication on the case back	Condition of use
No indication	Keep the watch more than 10 cm away from magnetic products.
	Keep the watch more than 5 cm away from magnetic products. (JIS level-1 standard)
	Keep the watch more than 1 cm away from magnetic products. (JIS level-2 standard)

78

Examples of common magnetic products that may affect watches



Cellular phone (speaker)



Bag (with magnet buckle)

AC-powered shaver



Portable radio (speaker)



Magnetic cooking device etc

Magnetic health belt

Magnetic necklace

Magnetic health mat

Magnetic health pillow

The reason why analogue quartz watch is affected by magnetism.

It is because the built-in motor of the watch, which harnesses magnetic power and external strong magnetism, affect each other to stop the motor or suppresses the turn of the motor.

79

Band (maintenance procedure)

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust.

Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)

Leather band

- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.
- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.

- Refrain from wearing a leather band watch other than Aqua Free bands while bathing, swimming and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (10-BAR water resistant) .

Polyurethane band

- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- When the band becomes less flexible or cracked, replace the band with a new one.

Notes on skin irritation and allergy

Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.

Notes on the length of the band

Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist.

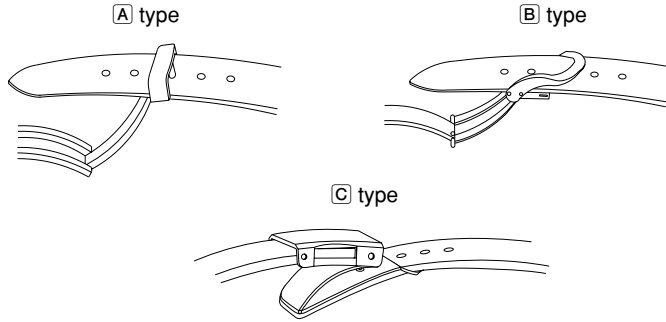


80

81

Special Clasps

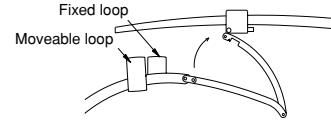
There are 3 type of special clasps as described below;
If the clasp of the watch you purchased is one of them,
please refer to the indications.



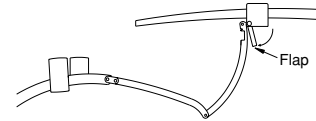
82

A Type

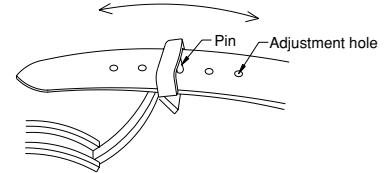
1) Lift up the clasp to release the buckle.



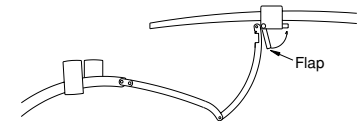
2) Open the flap.



3) Take the pin out of the adjustment hole, adjust the size of the strap by sliding it back and forth, and then put the pin back into the appropriate adjustment hole.



4) Close the flap.

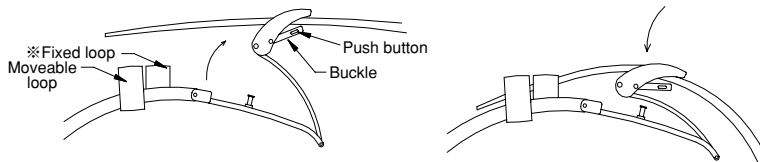


83

B Type

1 How to wear or take off the watch

- 1) Press the button on both sides of the buckle ; pull the buckle up. The band will automatically come out of the loop.
- 2) Place the tip of the band into the moveable loop and fixed loop, and fasten the clasp by pressing the frame of the buckle.

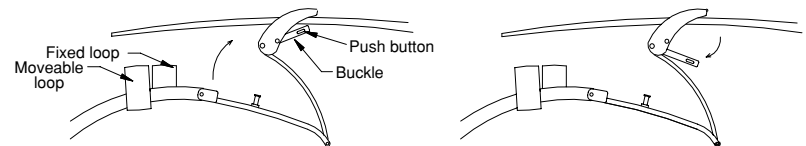


※No Fixed loop with Metal Bracelets.

84

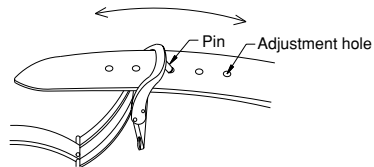
2 How to adjust the length of the leather band

- 1) With pressing buttons on both sides of the buckle, pull the leather band out of the moveable loop and fixed loop. Then open the clasp.
- 2) Press the push buttons again to unfasten the buckle.

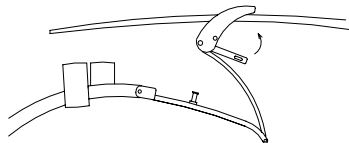


85

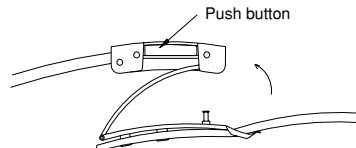
- 3) Pull the pin out of an adjustment hole of the band. Slide the band to adjust its length and find an appropriate hole. Place the pin into the hole.



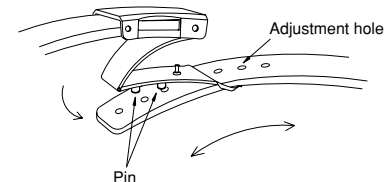
- 4) Fasten the buckle with pressing the push buttons.



- 1) Press the button on the buckle, and lift to open the clasp.



- 2) To adjust : Pull the pins out of the adjustment holes on the band. Slide the band to the appropriate length. Push the pins into the new holes on the band.



Notes on the battery

(1) Battery life

When a new normal battery is installed, the watch will operate for approximately 10 years.

*If the watch is used in the following conditions, however, the battery life may be less than the specified period.

1. When the crown is left at the first or second click for a long time
2. When the calendar is checked frequently
3. When the watch is left in a temperature below +5°C or above +35°C for a long time

(2) Monitor battery

The battery in your watch is inserted at the factory to check the function and performance of the watch, and its actual life may be less than the specified period.

(3) Battery life indicator function

When the second hand starts moving at two-second intervals, the watch may run down in about two weeks. In that case, please take your watch to a retailer from whom the watch was purchased as soon as possible to replace the battery with a new one.

*The time accuracy is not affected even if the second hand is moving at two-second intervals. The date will not change while this happens, but this is not a malfunction.

*If the watch is left in low temperatures for a long time, the performance of the battery deteriorates temporarily. As a result, the second hand starts moving at two-second intervals and the date will not change even when the battery has energy to power the watch.

When the watch returns to the normal temperature range between 5°C and 35°C, the second hand resumes the normal one-second interval movement and the date adjusts itself within one day as the battery recovers the normal performance.

If the two-second interval movement persists and the date will not change in the normal temperature range, the battery nears its end, and replace it with a new one as soon as possible.

(4) Battery replacement

1. The perpetual calendar controls the date display on the basis of the calendar data recorded in a built-in IC.

When the battery runs down, the calendar data is retained by the auxiliary power supply, and normally, it is not necessary to correct the calendar data after battery change. If the watch is left untouched for a long time with a dead battery, however, the energy of the auxiliary power supply may also be depleted. It is recommended, therefore, that the battery be replaced with a new one as soon as you find the second hand moving at two-second intervals.

2. For battery replacement, be sure to have the battery replaced with a new one by the retailer from whom the watch is purchased or at an authorized SEIKO DEALER, and requesting the battery replacement, please specify the genuine SEIKO SB battery.
3. If the old battery is left in the watch for a long time, a malfunction may be caused due to battery leakage, etc. Have it replaced with a new one as soon as possible.
4. Battery replacement will be made at cost even within the guarantee period.
5. Once the case back is opened for battery replacement or other purposes, the original water resistant quality designed for the watch may deteriorate when it is closed. When you have the battery replaced with a new one, also request the water resistance test pertaining to the water resistant quality of your watch. If your watch has 10-bar or higher water resistant quality, be sure to have such test performed on the watch every time the battery is replaced.

Please note that it takes several days to check the water resistant quality of your watch. When requesting the checking, therefore, please check the period required for it.

*After the battery is replaced with a new one, check the calendar, referring to "How to check the calendar".

Battery life and its accuracy vary depending on the type of your watch.
 Check the case back of your watch to identify the type of watch.
 (Refer to "Daily care".)

Type of watch (The first four digits of the caliber number of your watch Ex. 8F56-00D0)	Battery SB—	Battery life	Loss/Gain (per month)
4F32	T18	Approx.5 years	±20 seconds
8F32, 8F33	T19	Approx.10 years	

- The battery life shown above is for a watch with a new battery.
- The battery in the watch at the time of purchase is a monitor battery inserted in the watch at the factory for performance checks, therefore, the battery may run down earlier than the above-specified period.
- The accuracy is under the condition that the watch is worn on the wrist in a normal temperature range between 5 °C and 35 °C.
※Monthly rate of loss/gain may amount to approximately 4 seconds depending on the condition of use.
- Loss / Gain is determined per year ; i.e.,each month does not lose / gain the same number of seconds (e.g. One month = 2 secs.,another month = 1 sec., etc)
- Operational temperature range; -10°C~+60°C. (14°F~140°F).

[If your watch has lumibrite]

LumiBrite is a luminous paint that is completely harmless to human beings and natural environment, containing no noxious materials such as radioactive substance.

LumiBrite is a newly-developed luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark.

For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, LumiBrite can emit light for 5 to 8 hours. Please note, however, that, as LumiBrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

<Reference data on the luminance>

(A) Sunlight

[Fine weather]: 100,000 lux [Cloudy weather]: 10,000 lux

(B) Indoor (Window-side during daytime)

[Fine weather]: more than 3,000 lux [Cloudy weather]: 1,000 to 3,000 lux

[Rainy weather]: less than 1,000 lux

(C) Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)

[Distance to the watch: 1m]: 1,000 lux

[Distance to the watch: 3m]: 500 lux (average room luminance) [Distance to the watch: 4m]: 250 lux